

令和元年度
授業改善推進プラン
指導方法の課題分析と授業改善策

【国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保体・技家】

指導方法の課題分析と授業改善策

国語

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> ①単元や課題ごとのねらいや目標を明確にし、学習内容に対する興味・関心を高めること。 ②文章の種類に応じた読みの方法を指導すること。 ③漢字や文法事項の定着を図り、語彙力を増やす指導をすること。 ④表現活動(スピーチ、課題作文など)の機会を設けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の始めの目標提示や、評価の方法を工夫し、意欲的に取り組めるようにする。 ②文章の構成や描写に注意して読み取る方法を理解させる。 ③漢字や文法については、学習ワーク等を用いて繰り返し取り組ませる。また、国語辞典を活用し、辞書どおりでなく文脈の中での意味をとらえられるようにする。 ④互いに意見を交換したり、評価したりする場面を作り、さまざまな意見や考えがあることを学ばせる。 	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要約の仕方、調べ方を具体的に学び、情報活用能力を高める。 ・漢字・文法ワークは自己採点のあと授業者が再採点することで自力修正力を高めさせる。 <p>【発展的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の文章に触れる機会として、テーマ性のある文学作品を読み、他の人の感じ方や読み方から自分の表現や理解に役立たせるよう助言する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ①単元や課題ごとの目標を明確に示し、学習内容に対する関心・意欲を高めること。 ②表現活動(スピーチ、課題作文等)の機会を多く設けること。 ③語彙を増やし、読解や表現に生かすことができるようにすること。 ④漢字や文法事項などの定着を図る指導をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①単元の目標と学習内容とのつながりが理解できるように、意識して授業を行う。また、単元の終わりの評価が学習意欲につながるようにする。 ②グループ活動を通じ、意見交換したり、評価したりすることで考えを深められるようにする。 ③国語辞典を活用し、文脈上の意味を正しく捉えられるようにする。 ④課題や小テストの実施を通して、自らも定着の程度を確認できるようにする。 	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書ノートの記録や授業始めの小課題を通して、考えを表現することに慣れさせる。 ・小テストを行ったり、ワークシートを活用したり、繰り返し練習をさせる。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の文章にふれる機会として、テーマ性のある文学作品を読むことや新聞のコラムを読むことにより、他の人の考えや作品の良い点を挙げ、自分の表現や理解に役立たせるよう助言する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ①単元や課題ごとの到達目標を明確にし、学習内容に対する意欲を高めること。 ②表現活動(スピーチ・課題作文)の機会を多く設けること。 ③多様なもの見方・考え方を知り、自らの考えを深められるような指導を工夫すること。 ④語彙を増やし、読解や表現に生かすことができるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①人物設定や表現の工夫、見出しの付け方などに注意して文章を読み取る方法を学ばせる。 ②授業の様々な場面において、話したり聞いたり、書いたりする場面を多く設けるようにする。相互交流を通し、自らの考えを深めることができるよう指導する。 ③国語辞典を積極的に活用し、文脈での意味を正確に捉えさせ、語彙を豊かにする。 ④課題や小テストの実施を通して、自らも定着の程度を確認できるようにする。 	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストや課題プリントを活用し、漢字や文法事項の反復練習をさせる。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の文章にふれる機会として、テーマ性のある文学作品を読むことや新聞回し読みの活動により、他の人の考えや作品の良い点を挙げ、自分の表現や理解に役立たせるよう助言する。

社会

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> ①学習内容や学習活動に対する興味・関心を高めること。 ②基本的な学習内容(特に知識・理解)を定着させること。 ③思考力、表現力、資料の活用能力を高めること。 ④生徒間の学力差に対応していくこと。 ⑤授業規律を保つこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ①絵や写真などの資料を実物投影機も含めて活用する。学習内容につながる身近な事象を取り入れる。異なる地域、異なる時代の人々の暮らし、気持ちなどを想像させる発問を行う。 ②基本的な内容について、具体的な例や数字などを使って丁寧に説明し、ワークブックなどにより反復させる。 ③資料活用、原因や背景の考察などの活動を取り入れ、わかったことや考えたことを文章で表現させる。 ④最低限身に付けるべき知識や技能を明確に示して習得させるとともに、発展的な内容や活動も取り入れる。話し合いの場を設けるなど、生徒間での助け合いや深め合いを行わせる。 ⑤一人一人に、より丁寧に目を配り、声かけなどを行う。 	<p>【補充・発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着状態を定期テスト等で確認し弱点を補う。基礎的事象の説明や確認を丁寧に。発展的な知識も適宜取り入れる。 <p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る視点や考察の仕方を示して、慣れさせる。 ・単元ごとに復習のプリントを行わせ、知識の定着を図る。 <p>【補充・発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの課題で、基本的な内容の確認と、事象と事象の関連をたどれる復習用のワークシートを行わせる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ①学習内容や学習活動に対する興味・関心を高めること。 ②基本的な学習内容(特に知識・理解)を定着させること。 ③思考力、表現力、資料の活用能力を高めること。 ④生徒間の学力差に対応していくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的な内容について、身近な事象や具体的な例を使って丁寧に説明し、理解させる。ワークブックや小テストを行うなどして反復させる。 ②資料活用、原因や背景の考察などの活動を取り入れ、わかったことや考えたことを文章で表現させる。グループで考えさせたり、調べた内容をワークシートにまとめて、気づいたことや考えたことを発表させたりする。 ③小テストやワークシートの添削を通して一人ひとりの習得状況を把握し、学力の低い生徒に対しては、より丁寧に目を配り、声かけなどを行う。最低限身に付けるべき知識や技能を明確に示して習得させるとともに、話し合いの場を設けるなど、生徒間での学び合いや深め合いを行わせる。 	<p>【補充・発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着状態を定期テスト等で確認し弱点を補う。小テストやワークブックにより、苦手な範囲や覚えていない語句の見直しを行わせる。基礎的事象の説明や確認を丁寧に。発展的な知識も適宜取り入れる。 <p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る視点や考察の仕方を示して、慣れさせる。 ・社会のニュースに関心をもたせるため、「ニュースノート」や「ニュース発表」を行っていく。 <p>【補充・発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの課題で、これまで学習した基本的な内容の確認と、事象と事象の関連をたどれるワークブックを行わせる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ①学習内容や学習活動に対する興味・関心を高めること。 ②基本的な学習内容から受験に備えた知識まで、しっかりと定着させること。 ③思考力、表現力、資料の活用能力を高めること。 ④生徒間の学力差に対応していくこと。 ⑤社会参画の態度を養わせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICT教材などの幅広い資料を活用し、人権・政治・経済などと、身近な課題とのつながりを考えさせる。既習事項との関連に気付かせる。 ②事象の背景に触れながら説明するよう留意し、知識の定着を促す。発問の工夫などにより、知識の定着を進める。 ③各単元で、資料の読み取りをもとにした発表を行わせることで、思考・判断・表現の力を身に付かせる。 ④授業中の観察とともに、ワークブックや小テストなども利用して生徒一人一人の習得状況を知り、以後の授業に反映させる。 ⑤人権・政治・経済などの課題に対して「自分ならば」という視点で判断する機会を設けることで、社会の一員としての自覚を身に付けさせる。 	<p>【補充・発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的事象の説明を丁寧に。受験問題なども用いながら、発展的な知識も適宜取り入れる。 <p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なできごとや身の回りがあるルールを取り上げて、その背景や原因を明らかにして、生徒の関心を高める。 <p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内での振り返り学習や単元別テストなどを活用して、既習内容を繰り返し確認させる。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法をはじめ、様々な資料や事象を比較したり、関連付けて考えたりする課題を取り入れて、考えたことを明らかにする訓練をすることで思考力や判断力、表現力を伸ばす。

数学

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	①単元の学習のねらいを明確にし、基礎・基本の問題がしっかり理解できるように、個々の生徒の特性に応じて繰り返し演習を進めていく。 ②発展コースではできるだけ多くの応用問題に取り組ませる。	①単元ごとに基本問題の演習を問題集やプリントで計画的に進め、繰り返し指導を継続する。また、習熟度別少人数クラスの特性を生かし、発展的な問題を取り入れ、応用力も高めていく。 ②ワークシートや問題集で繰り返し取り組むことができる時間を確保していく。	【補充学習】 ・基本問題の課題プリントなどを計画的に行う。また、少人数の特性を生かし個々に対応していく。 【発展学習】 ・「数学的な見方や考え方」が深まる問題を計画的に取り入れていく。
2年	①単元の学習のねらいを明確にし、基礎・基本の問題がしっかり理解できるように、個々の生徒の特性に応じて繰り返し演習を進めていく。 ②発展コースではできるだけ多くの応用問題に取り組ませる。	①基礎・基本の力が定着するように、基本問題の演習を問題集や小テストで計画的に進めていく。また、少人数クラスの特性を生かし、基礎力の定着を図る。 ②ワークシートや問題集で繰り返し取り組むことができる時間を確保していく。	【補充学習】 ・基本問題の課題プリントなどを計画的に行う。また、少人数クラスの特性を生かし、個々に対応していく。 【発展学習】 ・「見方・考え方」が深まる問題を授業内に計画的に取り入れる。また、発展的な内容を扱う補習を行う。
3年	①単元の学習のねらいを明確にし、基礎・基本の問題がしっかり理解できるように、個々の生徒の特性に応じて演習を進めていく。 ②発展コースではできるだけ多くの応用問題・過去問に取り組む必要がある。	①基礎・基本の力が定着するように、基本問題の演習を問題集やプリントで計画的に進めていく。また、少人数クラスの特性を生かし、基礎力の定着を図る。 ②ワークシートや問題集を解く時間を必ず確保していく。	【補充学習】 ・基本問題の課題プリントなどを計画的に行う。また、少人数クラスの特性を生かし個々と対応していく。 ・単元別テストを少人数クラスの進行状況に応じて行う。また、再テストの機会を与え、自主的に学習する習慣を付けさせる。 【発展学習】 ・「見方・考え方」が深まる問題を計画的に取り入れていく。

理科

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①実験器具の扱いや操作、レポートの記入など、生徒の観察・実験の技能を養う場面で、個に応じたきめ細かな指導を行う必要がある。</p> <p>②学習内容に対して興味・関心を持たせ、学習活動を主体的に取り組ませる指導が必要である。</p>	<p>①必ず操作の見本を示し、机間指導により適宜、助言を与える。また、生徒が仕上げたレポートの紹介を行い、観察・実験の技能を定着させる。</p> <p>②パソコンを活用した資料提示やICT教材の利用など、視聴覚教材を取り入れる。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に小テストを実施する。 ・演習用の課題を与え、基礎学力の定着を図る。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活との関連を意識させる。 ・生徒が自ら進んで取り組むことができるように観察・実験に工夫を施す。
2年	<p>①興味・関心を高める為、授業における導入に力を入れる。学習内容と身近な自然事象を関連付ける指導が必要である。</p> <p>②生徒のつまづきに応じた教材の準備を充実させ、演習問題の用意をする。また、机間指導の中で個別に指導する時間を確保する工夫が必要である。</p>	<p>①計算を伴う学習内容については演習を行い、反復練習によって、導出の過程を理解させ、計算方法を身に付けさせる。達成感を味わわせ、理解できたことに対し、自信をもたせる。</p> <p>②パソコンを活用した資料提示やICT教材の利用など、視聴覚教材を取り入れ、自然事象の可視化に努める。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テストを行い、課題学習により、基礎学力の定着を図る。 ・演習問題を通して、基本的な知識を活用する力を養う。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活との関連を意識させる。 ・班活動などの中で、基本的な知識を活用する場面を設ける。
3年	<p>①「科学的な思考・表現」を身に付けさせるための活動を授業の中で一層充実させることを目指し、指導を行う。</p> <p>②1・2年で使用した実験器具の扱い方を使用前に再度確認する場を設ける。</p> <p>③過去の学習内容に触れ、1・2年の学習内容を復習する時間の確保を行う。</p>	<p>①反復練習によって、導出の過程や考え方を理解させ、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。</p> <p>②実演を通して観察・実験の操作を確認し、なぜその操作が必要なのか、理由を考えさせる。</p> <p>③ワークと都立入試のプレテストを使用し、中学3年間の総復習を行う。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、演習問題を通して、基礎知識の定着化を図るとともに、知識を活用する力を養う。 ・中学3年間の総復習を行う機会を設け、力を身に付けさせる。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「科学技術の発展」、「自然の恵みと災害」、「自然環境の保全と科学技術の利用」では、調べ学習、発表を行わせる。

音楽

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①楽曲の構造を捉え、曲のイメージや作曲者の曲想の意図を気付かせることを意識した活動の工夫が必要。</p> <p>②基礎的な技能を身に付けさせるための個別指導の工夫が必要。</p> <p>③楽曲を理解し鑑賞を深める指導の工夫が必要。</p> <p>④イメージや感想について言葉をとおして、他者に伝える力を生み出す工夫が必要</p>	<p>①授業プリントやワーク、教科書の補足部分を使って、曲の構造を理解し、曲想を意識し、感じ取らせる。</p> <p>②自己評価カードを使って、自己分析をさせ、技能の向上を意識させる。</p> <p>③ICT教材を積極的に取り入れ、ワークやワークシートを使って、要素や構造が理解できるようにし、鑑賞能力を高める。</p> <p>④様々な活動に対して、感想を伝える場を作り、積極的に自分の言葉で伝えようとする意識を育てる。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントやワークを使って、意欲的に活動できるよう働きかける。 ・授業内で個別指導を行い、必要に応じて昼休みに、個別指導を行う。 ・リーダーを育て、自主的に取り組み、お互い教え合うことにより、コミュニケーション能力を高めていく。 <p>【発展的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した技能をグループで発表する。
2年	<p>①楽の構造を捉え、曲のイメージや作曲者の曲想の意図を意識して活動を進め、音楽の楽しさを体感できる工夫が必要</p> <p>②楽曲を理解し鑑賞を深める指導の工夫が必要。</p> <p>③創意工夫して表現する能力を高める指導の工夫が必要。</p> <p>④イメージや感想について言葉をとおして、他者に伝える力を高める工夫が必要。</p>	<p>①曲の一部を使って、曲の構造を理解し、作曲者の曲想の意図を意識させるために「なぜ」という問いかけをする。</p> <p>②ICT教材を積極的に取り入れ、ワークやワークシートを使って、要素や構造が理解できるようにし、鑑賞能力を高める。</p> <p>③自己評価カードを使って、自己分析をさせ、技能の向上を意識させる。</p> <p>④様々な活動に対して、感想を伝える場を作り、言葉で伝える力を高める。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントやワークを使って、意欲的に活動できるよう働きかける。 ・授業内に個別指導を行い、必要に応じて昼休みに個別指導を行う。 <p>【発展的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した技能をグループで発表したり、お互いに教え合ったりする。 ・リーダーを育て、自主的に取り組み、お互い教え合い、伝え合うことにより、コミュニケーション能力を高めていく。
3年	<p>①音楽の構造を捉えて、曲のイメージや作曲者の曲想の意図を理解して活動を進め、音楽の楽しさを体感できる工夫が必要。</p> <p>②創意工夫して表現する能力を高める指導の工夫が必要。</p> <p>③楽曲を理解し鑑賞を深める指導の工夫が必要。</p> <p>④イメージや感想について言葉をとおして、他者に伝える力を深める工夫が必要。</p>	<p>①プリントを使って、授業内容が理解しやすいように工夫する。そのことで課題が意識でき意欲的に取り組めるようにする。「なぜ」という問いかけを増やし考えさせるようにする</p> <p>②ICT教材を積極的に取り入れ、ワークやワークシートを使って、要素や構造が理解できるようにし、鑑賞能力を高める。</p> <p>③自己評価カードを使って、自己分析をさせ、技能の向上を意識させる。</p> <p>④様々な活動に対して、感想を伝える場を作り、言葉で伝える力を高める。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントやワークを使って、意欲的に活動できるよう働きかける。 ・授業内に個別指導を行い、必要に応じて昼休みに個別指導を行う。 <p>【発展的学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した技能をグループで発表したり、お互いに教え合ったりする。 ・楽曲がより理解できるようワークシートを使って授業を進める。 ・リーダーを育て、自主的に取り組み、お互い教え合い、伝え合うことにより、コミュニケーション能力を高めていく。

美術

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①授業に対する関心、意欲は高いが、主体的に取り組むための理解を促す工夫が必要である。</p> <p>②発想や構想を表現するために必要な技術を身に付ける指導が必要である。</p>	<p>①授業内の流れについて課題の目標・準備する道具・流れ・作業について毎回板書し、導入時に確認を行う。</p> <p>②使用する道具の使い方について丁寧に説明する。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業や流れの確認ができるワークシートを導入する。 <p>・【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワールドカフェやクラスごとに作品鑑賞の時間を取り入れる。
2年	<p>①美術に対する関心、意欲は高く、集中力のある作業を得意としている。完成から逆算して作業を計画する力を身に付けさせる指導が必要である。</p> <p>②表現したいことと作品との関連する能力を身に付けさせる指導が必要である。</p>	<p>①教材や素材を完成させるまでの段階的な参考作品を作成し、提示する。</p> <p>②ワークシートの完成予想図と作品とを並べて鑑賞し、他の生徒からの意見を得るなど客観的な視点を取り入れるよう指導する。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> デッサンやコラージュの課題を取り入れ、新たな表現方法を提示する。 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いの作品の鑑賞や講評会を取り入れる。
3年	<p>①意欲的に作品制作に取り組むが、見通しをもつ能力や課題の意図を理解する能力を身に付けさせる指導が必要である。</p> <p>②評価のためだけでなく、自己を表現する感性を身に付けさせる指導が必要である。</p>	<p>①ワークシートなどを活用し、完成から逆算して自ら作業を組み立てられるように指導する。</p> <p>②美術作品や過去の生徒作品を提示し、表現の幅や作者の意図を感じとるような指導をする。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参考作品の提示 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループディスカッションの時間を多く取り入れる。

保健体育

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①聞く態度、取り組む姿勢を継続して向上させる必要がある。</p> <p>②技能を向上させるための基礎体力をつけさせる必要がある。</p>	<p>①授業のねらいを明確にし、授業に見通しを持たせ、授業後に学習カードを活用し振り返りの定着を図る。</p> <p>②持久力や筋力を高めるために、毎回の授業始めに補強運動を取り入れる。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎・基本を繰り返し練習 授業時間内での個別指導 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能について、基礎から段階的な学習を行い、ゲーム等に発展させていく。
2年	<p>①聞く態度、取り組む姿勢を継続して向上させる必要がある。</p> <p>②自他の技能を比較し、互いに研鑽しながら課題を解決する能力を身に付けさせる必要がある。</p> <p>③技能を向上させるための基礎体力をつけさせる必要がある。</p>	<p>①授業のねらいを明確にし、授業に見通しをもたせ、授業後に振り返りの時間を設ける。</p> <p>②グループ学習を進展させ、教え合う活動を取り入れる。</p> <p>③各単元の特性に応じた、基礎基本となる運動を授業始めに取り入れ、より運動量を確保できる授業を展開する。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎・基本を繰り返し練習 授業時間内での個別指導 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能について、基礎から段階的な学習を行い、ゲーム等に発展させていく。
3年	<p>①自らが目標を設定し、授業に取り組む姿勢を身に付けさせる必要がある。</p> <p>②自他の技能を比較し、互いに研鑽しながら課題を解決する能力を身に付けさせる必要がある。</p> <p>③知識・理解の観点から、習得した技能を言語で説明できる能力を身に付けさせる必要がある。</p>	<p>①授業のねらいを明確にし、授業に見通しをもたせ、授業後に振り返りの時間を設ける。</p> <p>②他者の良い部分を発見し、「学習カード」に記入する活動や、教え合う活動を取り入れる。</p> <p>③生徒同士でどのようにしたらより技能を高めることができるかを話し合う時間を設け、言語活動の場を設定する。</p>	<p>【補充学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の基礎・基本を繰り返し練習 授業時間内での個別指導 <p>【発展学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中1・中2で高めた技能を基に自らの目標を設定させながら、さらに深めていく。

技術

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	体験を通して意欲関心と知識理解とが結びつく指導の工夫が必要である。	実習時において説明を教科書のみならず板書、視覚的資料を活用し具体的に示していく。	【補充学習】 ・作業時の机間指導を丁寧に行い、個別に例示をしたり、考えさせたりする時間を設ける。 【発展学習】 ・設計や作業の仕方を工夫し、他の作品なども例示して振り返りや考える時間を設定する。
2年	日常使用している電気機器などに関心をもたせ、知識と結び付ける指導が必要である。	身近な電気機器を例示し、より具体的になるような説明をし、興味・関心を高めるよう指導する。	【補充学習】 ・実習を通して知り得た知識を表現できるようにする。 【発展学習】 ・他の作品なども例示し、振り返りや考える時間を設定する。
3年	日常使用している機器の仕組みがわかり、保守ができるような指導の工夫が必要である。	実際の動きを見せたり、視覚的資料を活用したりして関心をもたせ、日常の身近なものとしてとらえられるように指導する。	【補充学習】 ・実習を通して知り得た知識を表現できるようにする。 【発展学習】 ・他の作品なども例示し、振り返りや考える時間を設定する。

家庭

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	栄養バランスのとれた献立作成などでは、生活体験の不足から食品の基礎知識が低く、補う工夫を要する。	・各栄養素の働きの理解を深め、食品を分類できる教材を用意したり、日常生活と関連させて具体例をあげて関心を高める。 ・副教材を活用し指導する。	【発展学習】 ・学習した知識を使って日常の食事を考える時間を設定する。 ・実習を通じて、日常生活でも活動実践できるようにする。
2年	・衣服の手入れと補修については、生活体験の不足がみられ、作業の向上を要する。 ・各自の技能差が大きい。	・基礎的技術を製作標本を作り、丁寧に指導する。 ・生徒間のグループ指導を促す。	【発展学習】 ・衣服計画と資源・環境と衣服について考える時間を設定する。
3年	幼児の心身の発達に関心意欲はあるが、地域社会への関心に若干不足が見られる。	身近にある子どもや家族のための施設の具体例をあげ、関心を高める。	【発展学習】 ・子どもの健やかな成長のために地域の取り組みが欠かせないことを気づかせる時間を設定する。

英語

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充発展指導計画
1年	<p>①「聞くこと」「話すこと」「読むこと」の力はあるが、単語や文を「言えるが書けない」傾向があり、正確に文字や単語を写す等の基本段階に課題が残る生徒がいる。</p> <p>②指示をよく聞き、楽しんで発話する場面から集中して聞いたり考えたりする場面へ切り替えることが苦手である。</p>	<p>①ペアやグループで話したことをメモしてレポートする、誰かになったつもりで書いてみるなど、各個人で考えながら文を書く機会を多くとる。文字単位で音と関連付けた指導の強化も必要である。</p> <p>②毎時のねらいや見通し、今何をするのか等を明示しながら、生徒の集中を保ち飽きさせない授業展開の工夫をする。また、授業規律を確立し、的確に指示を出す。</p>	<p>【補充学習】</p> <p>歌や簡単なゲームで繰り返し表現に触れさせ、「わかった」「できた」という達成感を味わう機会を増やすことで苦手意識をなくす。</p> <p>【発展学習】</p> <p>学びあいやスローラーナーへの手助けを通じて自身の知識を整理し、更なる自信と向上心をもてるような機会を与える。</p>
2年	<p>①文を読んで聞いて理解するメカニズムがつかめておらず感覚的に捉え回答する生徒が大分絞られてきた。文字と音との関連をさらに強化した指導が必要である。</p> <p>②日本語に訳すことを勉強だと思う生徒や日本語に頼ろうする生徒に、英語を理解するのに必要な手立てを指導する必要がある。</p> <p>③語法や文構造などの理解や知識が深まってきているが使えるまでには至っていない。</p>	<p>①音と綴り字との関連に留意し音声と文字・語の繋がりを捉え、自ら読めるようにさせ、各取組内容を評価させる。</p> <p>②前年の学習内容を振り返り教科書を使い繰り返しの指導を心がける。</p> <p>③既習の内容を新たな言語表現で豊かに表現することで学習の面白さに気づかせる。</p> <p>④身近な表現にトライさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の特性や利点を生かし少人数制指導を充実させ個への対応を図る。「分かる」から「できる」への指導をする。 今月の歌や映像を用いて多角的な指導を行い、生徒の学習意欲を高める。 ALTと教師による英語の使用を生徒とALTに、生徒同士での使用への橋渡しをし、生き生きとした言語使用の場を設けて言語運用力を向上させる。 クラス内で相談しあい教え合い、自ら学べる姿勢を育て家庭学習の充実につなげる。
3年	<p>①「聞くこと」と「話すこと」のうち、資料をもとに英語で答えることができるように、情報を正確に聞き取る練習を充実させる。</p> <p>②「読むこと」では概要を把握し、質問を作り質問に答える力を伸ばす必要がある。</p> <p>③「書くこと」では、基本表現を定着させる英作文の指導を行いPlus1で書話活動を続ける。</p>	<p>①「聞くこと」「話すこと」では音声教材・ALTの活用、ペアワーク・グループワーク・インタビュー活動をさらに充実させる。</p> <p>②「読むこと」では、副教材を使って多読・速読を行う。</p> <p>③「書くこと」では基本本文を書きまとめたり自由意見を書く活動を継続する。</p> <p>④語彙・熟語の小テストや文法の復習課題から学習内容の定着度を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 少人数制指導の利点を生かし個への対応を強化する。全体・個別指導のバランスを図る。 歌など使い音と文字との関連強化を図る。 教師の発言をモデルとした生徒による言語使用の場面を設け表現力や言語運用力を向上させる。 読むこと・書くことを関連させて家庭学習との関連を図る。また3年間のまとめを実現する。